

環境共生の家づくりとサステナブル建材

20 世紀の大量生産・大量消費型社会は、多くの資源を枯渇の危機に至らしめ、数多くの環境問題を引き起こしました。21 世紀を生きる私たちはその時代を省み、残された資源を有効に活用し、環境と共生していく持続可能(サステナブル)な社会を構築しなければなりません。

住宅生産においては、省エネ、省資源化を目指し長期優良住宅やゼロ・エネルギー住宅の技術が注目されておりますが、住宅に使われる建材においても環境に調和した材料であることが望まれます。本講演では住宅に使用される建材がどのように生産され、環境とどのように関わっているのかを紹介すると共に、それらを有効に活用した環境共生の家づくりを考えたいと思います。

まず、家づくりの主要な材料である木材に関して、実際の製造工程における調査に基づいた生産過程における環境負荷データを報告すると共に、炭素固定や資源循環といった観点から環境に及ぼす効果を解説します。

さらに、「建材・設備はどこで何から作られているのか」(エクスナレッジ)の著者である岩手県立大学内田信平氏をお招きし、著作の基となった自邸の環境共生の家づくりとそれに活用された建材の資源・環境との関係についてご講演頂きます。

これらの講演から、人類の未来を持続可能(Sustainable)な循環型社会とするために材料・住宅生産がどうすべきかを考える機会としたいと思います。また東日本大震災の復興にあたり、これらを踏まえた家づくりを提案していきたいと思ひます。ぜひご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。



期 日： 平成 24 年 11 月 7 日(水) 14:00~16:30

会 場： 仙台市戦災復興記念館 4F 研修室
(〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号)
<http://www.stks.city.sendai.jp/hito/WebPages/sisetu/sensai/index.html>

- プログラム： 1. 開会あいさつ
2. 「循環型社会に向けた地域木材を活用した家づくり」
板垣 直行 氏 (秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科 准教授)
3. 「「建材・設備はどこで何から作られているのか」の取材から見てきたこと」
内田 信平 氏 (岩手県立大学盛岡短期大学部生活科学科 准教授)
4. 質疑・ディスカッション
5. 閉会あいさつ

参加費： 無料

定 員： 60 名(当日参加も可能ですが、席数に限りがありますので、事前の申込をお願い致します。)

申込先： 参加を希望される方は、①ご氏名、②ご所属、③電話番号、④E-mail アドレスを、E-mail または Fax にて下記宛てにお送り下さい。

秋田県立大学建築環境システム学科 石山智 宛
E-mail: ishiyama@akita-pu.ac.jp
Fax: 0184-27-2186

what?